2026年11月12日

各　位

会 社 名　株 式 会 社 ス マ サ ポ
代表者名　代表取締役社長 CEO　小田　慎三
（コード番号：9342　東証グロース市場）
問合せ先　代表取締役副社長 COO　藤井　裕介
（TEL 050-1741-3339）

連結決算への移行、連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年９月期より、従来の個別決算から連結決算に移行いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。また、2026年９月期の連結業績予想を公表するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、2025年11月13日に公表いたしました2026年９月期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

１．連結決算への移行について

2026 年８月７日に公表いたしました「株式取得（子会社化）および特定子会社の異動に関するお知らせ」のとおり、2026 年９月７日付で株式会社トレードワンの株式を取得し、同社及び同社の 100%子会社である株式会社ワカマツを連結子会社といたしました。これに伴い、2026 年９月期より連結決算に移行いたします。

なお、両社のみなし取得日を 2026 年８月 31 日としているため、2026 年９月期は両社の貸借対照表のみを連結しており、両社の損益は連結損益計算書に含まれません。両社の損益は 2027 年９月期より連結の対象となる予定です。また、当社が議決権の 29%を所有する関連会社である株式会社プラスサムジャパンを持分法適用関連会社としております。

２．2026 年９月期通期連結業績予想（2025 年 10 月１日～2026 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
今回発表予想	百万円 2,789	百万円 80	百万円 85	百万円 39	円 銭 16.33
（ご参考） 個別修正予想	2,789	123	120	73	30.73

（連結業績予想と個別業績予想の主な差異）

連結業績予想は、下記３．の個別業績予想を基礎とし、主に以下の連結調整を反映しております。

①株式会社トレードワンの株式取得に係る付随費用 43 百万円について、個別決算上は子会社株式の取得原価に含めておりますが、連結決算上は発生した期の費用（販売費及び一般管理費）として処理いたします。

②株式会社プラスサムジャパンへの持分法の適用により、持分法による投資利益８百万円を営業外収益に計上いたします。

３．2026 年９月期通期個別業績予想の修正（2025 年 10 月１日～2026 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	3,150	230	230	155	64.44
今回修正予想（Ｂ）	2,789	123	120	73	30.73
増減額（Ｂ－Ａ）	△361	△107	△110	△82	－
増減率（％）	△11.5	△46.5	△47.8	△52.9	－
（ご参考）前期実績（2025 年９月期通期）	2,816	190	191	130	54.15

（修正の理由）

＜売上高＞

売上高は、前回予想を 361 百万円下回る 2,789 百万円となる見込みです。主な要因は以下の２点です。

①「スマサポサンキューコール」において、収益性を重視した運営方針のもと不採算取引の整理及び取引条件の見直しを引き続き進めたことに加え、新規取引先の獲得に想定以上の時間を要したことなどにより、コンタクト数及び単価がいずれも計画を下回りました。

②入居者アプリ「totono」において、totono2.0 の ARPU は順調に伸長したものの、新規導入先の獲得に想定以上の時間を要し、第４四半期に見込んでいた大型案件の導入も翌期にずれ込んだことから、ユーザー数が計画を下回りました。

＜利益＞

利益面につきましては、上記の売上高の未達に伴う売上総利益の減少と、AI を中心とした totono の開発費用、及び当期に実施した事業譲受・子会社化に係る M&A 関連費用が、第３四半期決算発表時点の想定を上回ったことの双方により、営業利益は前回予想を 107 百万円下回る 123 百万円となる見込みです。これに伴い、経常利益及び当期純利益についても前回予想を下回る見込みとなりました。

（注）上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算定したものであり、今後の決算確定作業等により変動する可能性があります。

以　上